

29TH-am08

ラットでのヤマブドウジュース投与による尿中ポリフェノール量およびラジカル消去能

○藤井 奈々¹, 西村 麻里¹, 岡本 敬の介¹, 根岸 友恵¹, 有元 佐賀恵¹
(¹岡山大学)

【目的】アントシアニンなどのポリフェノール類には抗変異原、抗がん、抗酸化作用があることが知られている。当研究室ではこのようなポリフェノール類を豊富に含む食品としてヤマブドウ (*V. coignetiae*) に注目し、これまでにヤマブドウが生体内で抗変異原性抗がん作用を示すことを報告してきた。そこで今回はラットに経口投与されたヤマブドウ成分が吸収されるかどうかを明らかにし、ヤマブドウ果汁の抗酸化作用が尿中に現れるかどうか明らかにするため尿中のフェノール量やラジカル消去能を研究した。

【方法】16時間絶食させたSDラット雄の5週齢にヤマブドウ果汁または水をそれぞれ自由摂取させ、投与前と投与開始から4, 8, 24, 36, 48時間後の尿を採取し尿中のフェノール量、ラジカル消去能、クレアチニン量を測定した。フェノール量はFolin-Ciocalteu法を用い、ラジカル消去能はDPPH消去活性法を用いた。

【結果・考察】ヤマブドウ果汁を与えたグループでは投与前と比較してフェノール量、DPPH消去活性ともに上昇していた。また水のみを与えたコントロールと比較してもヤマブドウ果汁を与えたグループではフェノール量、DPPH消去活性が上昇していた。

以上の結果からヤマブドウ果汁のフェノール成分は消化管より吸収されること、尿排泄され尿中でも抗酸化作用を示すことが分かった。